

死亡交通事故での生存者：BMI, 性別, シートベルト着用

Sivak, M., Schoettle, B., and Rupp, J.

Traffic Injury Prevention, 2010, vol. 11, pp. 66-68

Abstract

背景:本研究では死亡交通事故の生存者とBMI, 性別, シートベルト着用の関連性を調査した。

方法:米国の死亡交通事故データのうち、歩行者, サイクリスト, オートバイライダーが関与しない11年間分のデータを分析した。

結果:死者を伴う事故では女性ドライバーの死亡率が男性のそれと比べ1.28倍高く、シートベルト未着用のドライバーの死亡率が着用のそれと比べ5.43倍高い。生存率とBMIの関係はドライバーの性別とシートベルト着用有無に依存する。

結論:男性ドライバーのBMI増加はシートベルトを着用した場合には有利となるが未着用の場合には不利となる。シートベルトを着用した標準BMIの女性ドライバーの死亡率が最も低く、BMIの増加もしくは減少によって死亡率は高くなる。シートベルト未着用の女性ドライバーのBMIと死亡率は無関係であった。

Keywords: 死亡交通事故; BMI; 性別; シートベルト着用